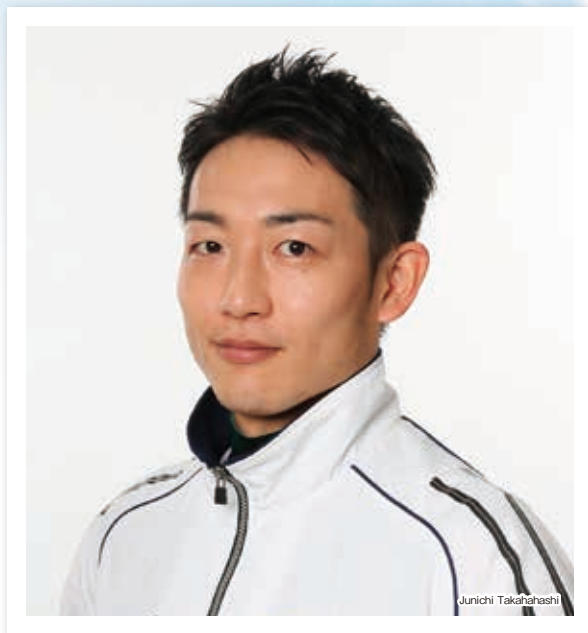


●たかはし・やすひこ

1985年5月12日生まれ。仙北市角館出身。角館高校から筑波大学体育専門学群に進学。大学1年まで硬式野球部だったが、けがにより競技継続を断念。大学2年から体操部に入り、ラートに出会った。筑波大学人間総合科学研究科修了。2013年世界選手権で、ドイツ人以外で初めて個人総合部門を制覇し、15年、18年と合わせ、世界初となる3度目の個人総合優勝を果たした。今年度から秋田ノーザンハビネッツに所属。

## 秋田から広げる「輪」



ラート競技世界チャンピオン

# 高橋 靖彦

となります。世界の舞台で体力も精神力もギリギリのところまで競う中、地元からの応援はとても力になりました。

秋田の選手として、最高のスタートを切れましたし、大会期間中に余裕があるときは、SNSを通じて「AKITA」をPRしました。

これまでの遠征を通じて、海外で和食への関心が高まっているのを感じます。お米や豆製品を好んで食べる方も増えているという話を耳にするからです。そこで、地元角館の老舗、安藤醸造様に醤油やフリーズドライ味噌汁をご提供いただき、海外関係者へお土産として渡したところ、想像以上に喜ばれました。大会で競い合うだけではなく、交流の輪を広げられることは、国際大会ならではの楽しみでした。

高校卒業後に秋田を離れてからというもの、実家から送られてくるお米や野菜を食べるのが楽しみでした。含まれているのは、単なる栄養素だけではありません。口にした後の、身体に元気が漲る感覚は、故郷を離れて暮らした経験がある方に共感していただけだと思います。

2018年度から、縁があつて秋田ノーザンハビネッツ所属のラート選手として競技活動を続けています。心の奥底にあった「地元を拠点に活動できたらいいな」という淡い願いが実現し、自分自身が驚いて

いると共に、これまで関わってくださった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは秋田県産の食品を「じっぱり」食べられると思うだけで、モチベーションが上がっています。早速ではありますが、今年5月にスイスで開催された第13回世界ラート競技選手権大会に参加し、男子個人総合、男子種目別跳躍、男子種目別斜転で優勝、男子種目別直転と団体戦で3位という好結果を残すことができました。個人総合部門制覇は3度目となり、男女を通じて世界初

つかりと練習に励みます。世界ラートチームカップは、世界選手権で上位だったドイツ、スイス、日本、オランダの選手のみが参加できるハイレベルの団体戦で、秋田の皆さんにはラートの面白さ、ダイナミックさを間近で楽しんでいただける絶好の機会になると思います。もちろん、観るだけではなく、ラートを体験できる機会も増やしていきますので、見掛けたら是非チャレンジしてみたいかと思いますが、先入観を取り払うことで、「意外とできる！」という気持ちになれますし、他のスポーツでは味わえない浮遊感を味わえます。秋田から「チャレンジ精神」や「笑顔」の輪を広げたいと思いますので、応援よろしくお願ひします！



ラート競技には3種目(1)2本のリングで回転する直転(2)片方のリングだけで回転する斜転(3)転がしたラートに跳び乗り宙返りなどをする跳躍)があり、技の難度や完成度を競う。世界大会では音楽に合わせた芸術性も採点される。

